



市長
森山 一正

新年あけましておめでとうございます。
昨年を振り返りますと、コロナ禍で人間関係の希薄化が心配されつつも、これまで見送られていたイベントの多くが3年ぶりに再開されるなど、日常の様々な場面で徐々に回復の兆しが見られた年でした。この流れに乗り、今年はいづコロナの動きをさらに加速させ、社会活動が以前の活気を取り戻すよう強く働きかけることで、

摂津市が誇る「絆」や「つながり」が一層強く地域に根付き、市域全体が活性化するように努めてまいります。

具体的には、心の温かみが感じられる各イベントの開催は言うに及ばず、誰もが安全安心に、そして快適に暮らせるよう、国立循環器病研究センターや国立健康・栄養研究所など関係機関と連携した健康づくり、JR千里丘駅西地区の再開発、阪急電鉄京都線の連続立体交差化など、今年も様々な大型プロジェクトを鋭意推進してまいります。さらに、地理的特徴から水害リスクの高い鳥飼地区でも、「鳥飼まちづくりランドデザイン」に基づいて高台のまちづくりを進めることで、賑わいと暮らしやすさが調和した地域の創生に一步踏み出してまいります。

今年はい年、本市が一層潤いあふれる元気なまちへと弾みをつけてジャンプできるよう、私も行政運営に精一杯励んでまいりますので、引き続きご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます、年頭のごあいさつといたします。



令和5年 新年のごあいさつ



市議会議長
福住 礼子

新年明けましておめでとうございます。

日頃より摂津市議会に対し、温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、流行の波を繰り返す新型コロナウイルス感染症に加え、ロシアによるウクライナ侵攻などに伴う原油高や物価高騰は、市民生活や地域経済に重大な影響を及ぼしました。

本市では、新型コロナウイルス感染が判明し、自宅での療養生活を支援する食料などの支援パックの配付、そして新型コロナウイルスやインフルエンザの同時流行に備え、市内医療機関の協力を得て、日曜日・祝日・年末年始も検査、診療を実施する体制整備を行ってまいりました。

一方、地域経済を活性化するため、プレミアム商品券やグルメクーポンなどの発行により市内での消費喚起を図るとともに、深刻な影響を受けている中小企業や介護・障害福祉サービス事業所などに対して物価高騰対策支援金の支給を開始するなど、多くの皆様が必要な支援を受けていただけるよう対応してまいりました。

本市議会といたしましても、一日も早く市民の皆様の日常生活と活力ある地域経済を取り戻せるよう行政とともに最大限の努力をしておりますので、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして幸多き飛躍の年となりますことを心から祈念申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。